

透析患者さんの 危機管理

- 改訂第3版 -

和歌浦中央病院 腎センター

透析患者の危機管理

1995年の阪神淡路大震災の例を挙げるまでもなく、地震や災害は突然ふりかかってくるものです。時と場所を選びません。実際に透析に何らかの支障が生じるような大災害が起きた時にあわてないために、どう行動すればよいかまとめてみました。

1. 自宅にいた場合

- (1) まず、自分が通っている透析施設に電話連絡をとります。
(この場合、一般家庭の電話や携帯電話よりも公衆電話を使った方が通じやすい。)
- (2) 電話がつながったら、施設の透析スタッフから具体的指示を受けます。
- (3) 電話がつながらなかったら、直接施設に行くことも必要です。
(この場合、交通情報や道路の安全確認についてなど、情報収集を充分に行うことが必須です。)
- (4) 透析施設までたどりつけてもそこで透析がうけられなかった場合(施設が災害のため透析を行えない・緊急の患者を多数受け入れて通常通っている患者の透析をすべて行うことができない・施設が遠すぎて行くのが困難)は、自分の力で透析施設を探し出さなければなりません。
- (5) そのためには、大災害が起きた時にあわてないように、普段から自分の家の近隣の透析施設や、親族や知人のそばの透析施設の連絡先を覚えておく必要があります。
* 和歌山市周辺の透析施設については後記
- (6) 何とか透析を引き受けてくれる病院を探しあてたが、その病院まで行く手段がない場合(車を持っていないとか、電車やバスも動いていないとか)は、迷わず119番や110番に通報して、透析患者であることを説明して、救急車やパトカーやヘリコプターなどの出動を要請しましょう。(尚、一人で探した場合は心配するので普段通っている病院・施設に必ず連絡しましょう。)

* 現在受けている透析治療の内容をご存知ですか？

以下の内容を記入したカードを携帯しておくといよいでしょう。

人工透析患者カード	
氏名	生年月日
血液型	
住所	
TEL	
保険種別	
連絡病院	TEL
医療法人曙会	073-444-1600(代表)
和歌浦中央病院	073-448-5368(直通)
和歌山市塩屋6-2-70	メールアドレス
	touseki@wachuohp.or.jp
災害時はNITの災害用伝言ダイヤル171番	

治療方法	透析回数	週	回
体重(DW)	透析日		
透析時間	透析時間帯		
ダイアライザー	[ろ過面積: m ²]		
血液流量	(ml/min)		
透析液	[Ca: mEq/L]		
抗凝固薬	全量	単位	
禁忌薬物			
原疾患			
シヤント部位			

表

裏

使用しているダイアライザーの種類、血流量は？

1 回に服用する薬剤の種類、量は？

定期的な検査データの値は？

薬剤の予備を備えていますか？

医師から指示されている特殊な薬剤やカリウムを調整する薬剤を覚えていますか？

身元引受人の名前を書いていますか？

隣人の電話番号・住所・氏名を書いていますか？

電話が通じない時は公衆電話を使用しましょう。

(停電時はカードが使用できませんので、10 円硬貨を携帯しておくといよいでしょう。)

(7) どの病院・施設で透析を受けるにしても、透析の間隔があいてしまうことも考えておかなければなりません。

阪神大震災の時は、中4 日以上あいてようやく透析を受けられた人が全体の 1 割にも達しました。大災害が発生したら、透析を 1 週間近く受けられない最悪の可能性も想定しておかなければなりません。即ち、透析を受けられない間、食事管理を普段より厳しく気をつけることが極めて重要です。

* 食事管理で特に気をつけなければならないこと。

高カリウム血症

カリウムの高い食品を控えようとするのは誰でも実行することですが、それに伴ってついつい食事全体の量も少なくなったりします。カロリーが不足すると、身体が自分の組織を分解してエネルギーを作り出そうとします。その時に組織の中のカリウムも一緒に血液に流れ出していまいます。従って、カリウムの多い食べ物を控えるだけでなく、カロリーを十分に摂ることも大事です。

水分摂取

カリウムだけではなく水分も、透析を受けられない期間に応じて、通常の半分から 3 分の 2 に制限することが必要になります。

災害時の栄養量

栄養量		エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	カリウム (mg)	水分 (ml)	
					食品	飲み水
通常	男	1800	60 ~ 65	~ 2000	1000	500 ~ 600 + 尿量
	女	1600	55 ~ 60	~ 2000	1000	500 ~ 600 + 尿量
透析が 1 週間 できない場合	男	1700	25 ~ 30	500	合わせて 800+尿量	
	女	1400 ~ 1600	25 ~ 30	500	合わせて 800+尿量	
透析が 3 日お き又は時間が 短くなった場 合	男	1700	40	1000	合わせて 1000+尿量	
	女	1400 ~ 1600	40	1000	合わせて 1000+尿量	
透析は受けられる が食料量不足又は 救援物資を利用す る場合		通常と同 じ	通常と同 じ	通常と同 じ	通常と同 じ	通常と同 じ

2. 透析中に災害が発生した場合

1) 慌てて、各自勝手な行動をしないよう必ずスタッフの指示に従って行動して下さい。

2) 避難に際しての処置は、緊急の度合いによってことなり、次のようにします。

(1) 比較的時間に余裕がある場合は、通常の返血を行います。

(2) 直ちに避難を要する場合

・返血を行わないで抜針して止血バンドを巻いて避難します。

・止血困難な人は動静脈回路接続部をはずして、針を残したまま避難します。

地震の場合は揺れが（約15秒）でおさまるといわれていますので、揺れがなくなれば比較的時間に余裕ができるので（1）か（2）の方法を行います。



緊急回路離断

緊急に血液回路を切断しなくてはならない時は

1. 透析室内または周辺での火災
2. 有毒ガスの発生
3. 家屋の倒壊



上の図のように血液回路をカンシで止めます。
止めたカンシの中間をハサミで切断します。

* カンシを止めた時点で機械のブザーが鳴りますが、ポンプは自動停止しますので大丈夫です。

切断した回路をしっかり手に持ち、グリーンの手袋で保護し、スタッフの誘導に従い避難して下さい。

* 緊急離断はスタッフが行うことを原則とします。たいへん危険な事なので直ちに避難が必要な場合にのみ行います。

緊急離断セットを使用する場合

ベッドの枕もとに黄色の袋の緊急離断セットを各ベッドにつけています。
中には、青い帯び袋の中にプラスチック製のカンシ 2 個とはさみ 1 個、止血バンド 2 本、バンソウ膏がはいっています。



緊急離断の必要が発生した場合は、黄色の袋からこれを取り出しプラスチックカンシで血液回路をはさんで、ハサミで回路を切断し、青い帯び袋で穿刺部を巻いて避難してください。止血は避難後に行います。

* 緊急離断は非常に危険ですので、自分でできない方は、スタッフが行いますので絶対に切らないで下さい。

3) 避難に際してエレベーターが動いていても停電、故障で止まることがありますので、必ず階段を使って下さい。特に夜間は非常灯が点灯しますが足元に注意して下さい。

4) 地震の際、揺れている間は毛布をかぶり落下物から身を守って下さい。

* 強い地震発生の場合、ベッドからの転落や機械が転倒で針が抜ける危険があります。

針が抜けた時は、シャント血管を強く手で圧迫し出血を止めて下さい。

5) 火災が発生した際はできるだけ身をかがめ、タオルなどを口・鼻にあててスタッフの誘導に従い避難して下さい。

6) 避難場所についたら、止血処置・薬の配布・家族への連絡・今後の対策について説明しますので、慌てて帰らないで下さい。帰宅する前には必ず連絡先をスタッフに伝えて下さい。

透析施設一覧表

施設名	TEL FAX	住 所
杏林会 嶋病院	073-463-3900 073-432-6202	和歌山県和歌山市西仲間町 1-30
裕紫会 中谷病院	073-471-3111 073-473-0864	和歌山県和歌山市鳴神 123-1
西村会 向陽病院	0734-74-2000 0734-74-1880	和歌山県和歌山市津泰 40
済生会和歌山病院	073-424-5185 073-425-64185	和歌山県和歌山市新生町 5-35
博文会 児玉病院	0734-36-6557 0734-36-0827	和歌山県和歌山市餌差町 1-12
和歌山生協病院	073-471-7711 073-474-2387	和歌山県和歌山市有本 143-1
青松会 河西田村病院	073-455-1015 073-453-2359	和歌山県和歌山市島橋東ノ丁 1-11
良友会 西和歌山病院	0734-52-1233 0734-52-1040	和歌山県和歌山市土入 176
卓麻会 宇治田循環器科内 科	073-455-6699 073-452-6540	和歌山県和歌山市古屋 153-9
日本赤十字社和歌山医療セ ンター	073-422-4171 073-426-1168	和歌山県和歌山市小松原通 4-20
高山病院	0734-26-2151 0734-26-2152	和歌山県和歌山市小雑賀 3-1-11
裕明会 きたクリニック	073-436-0733 073-436-0127	和歌山県和歌山市中島 1-5-1 クリニック ビルりゅうじん 3F
和歌山県立医科大学付属病 院血液浄化センター	0734-41-0639 0734-41-0639	和歌山県和歌山市紀三井寺 811-1
和歌山県立医科大学付属病 院第 3 内科	073-411-0619 073-446-2877	和歌山県和歌山市紀三井寺 811-1
療明会 半羽胃腸病院	073-436-3933 073-436-5711	和歌山県和歌山市堀止南ノ丁 4-11
琴仁会 石本病院	0734-82-5063 0734-82-4508	和歌山県海南市船尾 365

恵友会 恵友病院	073-483-1033 073-483-1855	和歌山県海南市船尾中浜 264-2
昇和会 谷口病院	0734-82-2500 0734-82-4890	和歌山県海南市日方 328
昇和会谷口病院 紀北クリニック	0736-33-0782 0736-33-0782	和歌山県橋本市市脇 3-6-9
南労会 紀和病院	0736-34-1255 0736-34-1305	和歌山県橋本市神野々1103
有紀会 松尾外科医院	0737-82-3122 0737-83-5755	和歌山県有田市新堂 97-1
千徳会 桜ヶ丘病院	0737-83-0078 0737-83-0079	和歌山県有田市宮崎町 841-1
国保日高総合病院	0738-22-1111 0738-22-7140	和歌山県御坊市藪 116-2
黎明会 北出病院	0738-22-2188 0738-22-2166	和歌山県御坊市湯川町財部 728-4
紀伊クリニック	0738-24-2222 0738-24-1735	和歌山県御坊市湯川町小松原 615-1
裕紫会 中紀クリニック	0738-22-8777 0738-23-5845	和歌山県御坊市藤田町吉田 324-1
卓麻会 南紀新庄クリニッ ク	0739-22-1866 0739-22-1876	和歌山県田辺市新庄町 2173-1
洗心会 玉置病院	0739-22-6028 0739-25-2825	和歌山県田辺市上屋敷町 147
柏井内科クリニック	0739-26-4150 0739-26-4181	和歌山県田辺市末広町 6-20
会保険 紀南総合病院	0739-22-5000 0739-26-0925	和歌山県田辺市湊 510
淳風会 熊野路クリニック	0735-21-2110 0735-23-0380	和歌山県新宮市下田 1-1-24
新宮市立医療センター	0735-31-3333 0735-31-3337	和歌山県新宮市蜂伏 18-7
共栄会 名手病院	0736-75-5252 0736-75-2111	和歌山県那賀郡那賀町名手市場 294-1
博文会 紀の川クリニック	0736-62-0717 0736-62-2831	和歌山県那賀郡岩出町西国分 501

明美会 有田南病院	0737-52-3730 0737-52-6860	和歌山県有田郡吉備町小島 15
たちばな会 西岡病院	0737-52-6188 0737-52-6091	和歌山県有田郡吉備町小島 278-1
健佑会 けんゆうクリニック	0735-62-5080 0735-62-4845	和歌山県西牟婁郡串本町串本 1790
那智勝浦町立温泉病院	07355-2-1055 07355-2-3853	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字天満 483-1
国保古座川病院	0735-72-0280 0735-72-0711	和歌山県東牟婁郡古座町古座 1035
玉井整形外科内科病院	0724-71-1691 0724-73-0166	大阪府阪南市下出 492
公立忠岡病院	0725-32-2001 0725-20-1369	大阪府泉北郡忠岡町忠岡北 1-3-7
三和会 永山病院	0724-53-1122 0724-53-2841	大阪府泉南郡熊取町大久保東 1-1-10
平和会 永山クリニック	0724-51-2100 0724-53-1902	大阪府泉南郡熊取町紺屋 1-25-12
三清会 泉南中央病院	0724-65-0301 0724-65-3116	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺 375-6
沢田医院	0745-65-0801 0745-62-0803	奈良県御所市 180-14
済生会御所病院	0745-62-3585 0745-63-2335	奈良県御所市三室 20
田畑医院	07472-5-1211 07472-6-5820	奈良県五條市中之町 1617-1
奈良県五条病院	07472-2-1112 07472-5-2860	奈良県五條市野原西 5-2-59

3. 病院への連絡方法

1) 災害時優先電話

透析室直通電話は災害時の一般電話が規制を受けているときでも優先的に通信が可能です。(こちらからの発信のみ)

直通電話：073 - 448 - 5368

2) 災害用伝言ダイヤル

災害被災を受けた場合は、NTTの災害伝言用ダイヤルに病院の状況を録音します。

(利用方法)

171にダイヤル

説明が聞こえます。『こちらは災害用伝言ダイヤルです。録音される方は1、再生される方は2、暗証番号を利用する再生は3、暗証番号を利用する再生は4をダイヤルして下さい。』

2にダイヤル

説明が聞こえます。『被災地の方はご自宅の電話番号、または、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。被災地以外の方は連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。』

073 - 448 - 5368にダイヤル

説明が聞こえます。『電話番号073 - 448 - 5368の伝言をお伝えします。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の1、のあと#を押して下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合はもう一度おかけ直し下さい。ピッ』

1#をダイヤル

説明が聞こえます。『新しい伝言からお伝えします。伝言を繰り返すときは数字の8のあと#を、次の伝言に移るときは数字9のあと#を押して下さい。』

伝言再生

【こちらは和歌浦中央病院透析室です。被災状況は・・・・・・・・】

『この伝言は 日午前/午後 時 分にお預かりしました。』

ここで電話を切ってもよいです。(8#ダイヤルで伝言が繰り返されます。)

2003.11.30 初版
2004.09.01 改訂1
2004.11.15 改訂2
2006.02.13 改訂3

医療法人曙会

和歌浦中央病院 腎センター